

モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米ドル建投資証券への投資を通じ、米ドル建ての短期高利回り社債に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年1月18日～2022年7月15日

| | | |
|-----------------------|----------------|----------|
| 第19期 | 決算日：2022年2月15日 | |
| 第20期 | 決算日：2022年3月15日 | |
| 第21期 | 決算日：2022年4月15日 | |
| 第22期 | 決算日：2022年5月16日 | |
| 第23期 | 決算日：2022年6月15日 | |
| 第24期 | 決算日：2022年7月15日 | |
| 第24期末 (2022年7月15日) | 基準価額 | 9,242円 |
| | 純資産総額 | 1,614百万円 |
| 第19期～ 第24期 | 騰落率 | △11.7% |
| | 分配金合計 | 180円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

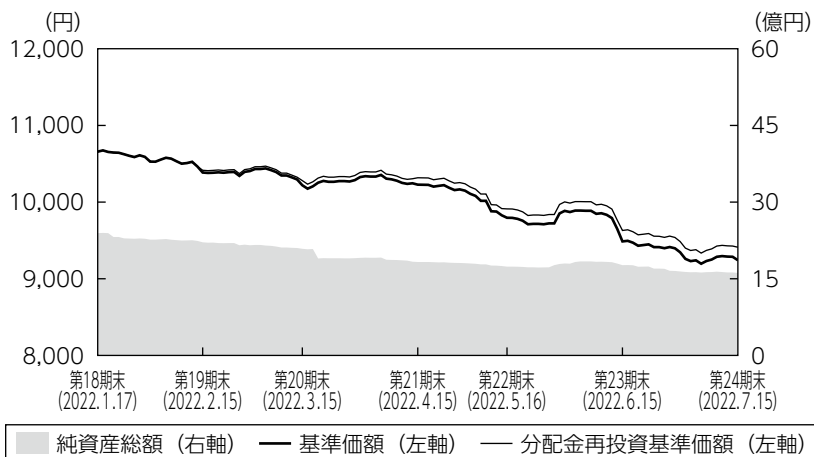
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第19期首： 10,658円
 第24期末： 9,242円
 (既払分配金180円)
 騰落率： △11.7%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国金利が大幅に上昇（債券価格は下落）し、信用スプレッドも拡大したため、保有債券の価格が下落したことから、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|---|--------|
| USドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZM | △11.1% |
| DIAMマネーマザーファンド | △0.0% |

(注) USドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZMの騰落率は米ドルベースで、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。なお、当作成期の米ドルのT T M（東京の対顧客電信売買相場の仲値）の騰落率は21.5%となりました。

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第19期～第24期 (2022年1月18日 ～2022年7月15日) | | 項目の概要 |
|-----------|--|---------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| | (a) 信託報酬 | 53円 | |
| (投信会社) | (19) | (0.188) | |
| (販売会社) | (33) | (0.323) | |
| (受託会社) | (2) | (0.016) | |
| (b) その他費用 | 1 | 0.008 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| (保管費用) | (1) | (0.007) | |
| (監査費用) | (0) | (0.001) | |
| (その他) | (0) | (0.000) | |
| 合計 | 54 | 0.536 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

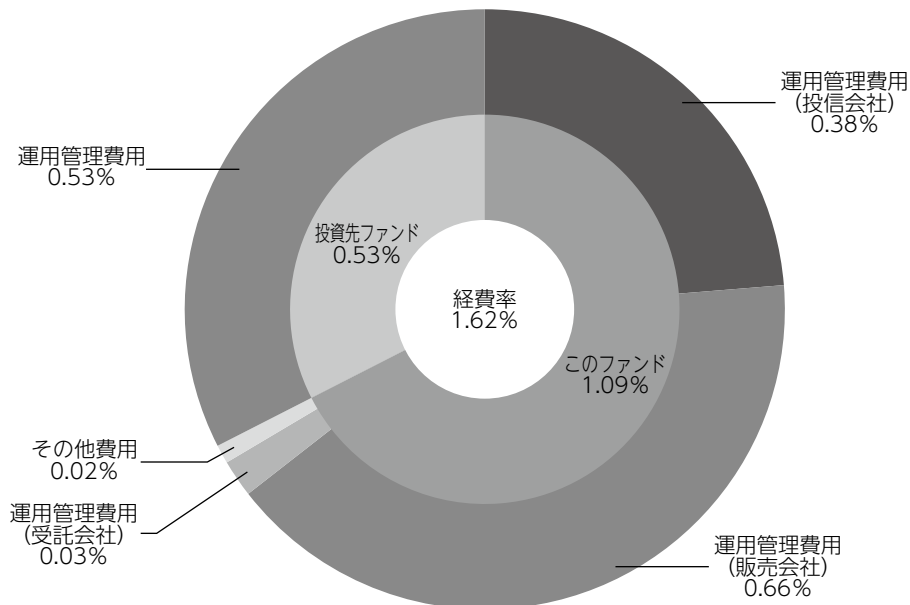
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.62%です。



| | |
|----------------------------------|-------|
| 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）（①+②） | 1.62% |
| ①このファンドの費用の比率 | 1.09% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.53% |

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

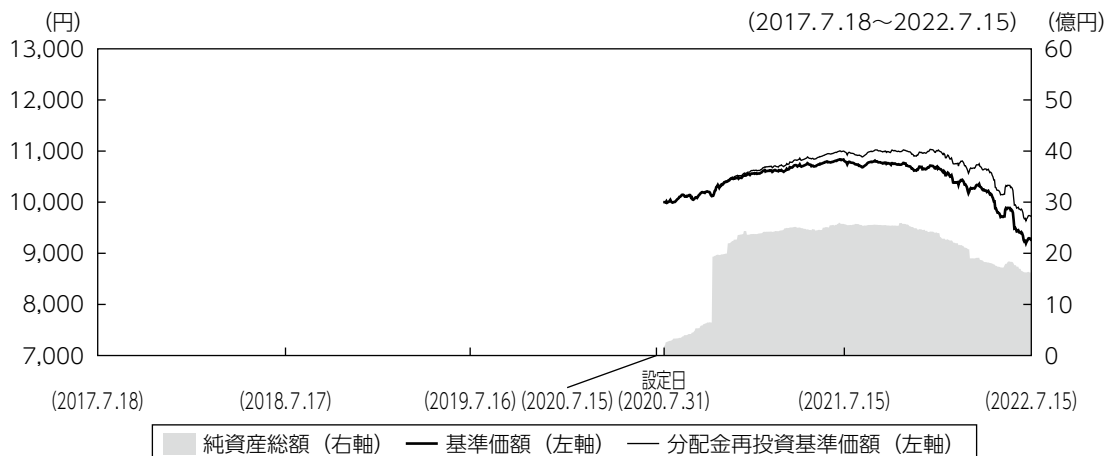
（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がありますが、上記には含まれておりません。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

| | 2020年7月31日 設定日 | 2021年7月15日 決算日 | 2022年7月15日 決算日 |
|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) (円) | 10,000 | 10,810 | 9,242 |
| 期間分配金合計 (税引前) (円) | — | 180 | 340 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%) | — | 9.9 | △11.6 |
| 純資産総額 (百万円) | 192 | 2,569 | 1,614 |

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

F R B（米連邦準備理事会）がインフレ率の高騰に対して、積極的な金融引き締め姿勢を取ったことで米国金利が大幅上昇（債券価格は下落）しました。また、金融引き締めにより米景気後退の懸念が強まったことやロシアによるウクライナ侵攻など地政学リスクの上昇を受けて信用スプレッドが拡大し、ハイイールド市場は下落しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

USドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZMの組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。また、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

●USドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZM

ミドル・マーケットの発行体*のハイイールド債券へ注目して運用しました。格付別構成比率は、B格を中心に保有し、ベンチマークに対してはB B格をアンダーウェイトとし、B格をオーバーウェイトとしました。業種別では、電力、通信、銀行をベンチマークに対してアンダーウェイトする方針を継続し、景気の影響を受けやすいエネルギー等のセクターに着目しました。また、新規発行市場は低調であったものの、銘柄選択に注力し組入れを行いました。

*通常のハイイールド債券の発行体と比較して、相対的に債券の総発行額が少額の発行体を指します。

●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 第19期 | 第20期 | 第21期 | 第22期 | 第23期 | 第24期 |
|------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2022年1月18日 ~2022年2月15日 | 2022年2月16日 ~2022年3月15日 | 2022年3月16日 ~2022年4月15日 | 2022年4月16日 ~2022年5月16日 | 2022年5月17日 ~2022年6月15日 | 2022年6月16日 ~2022年7月15日 |
| 当期分配金（税引前） | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 |
| 対基準価額比率 | 0.29% | 0.29% | 0.29% | 0.31% | 0.32% | 0.32% |
| 当期の収益 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 |
| 当期の収益以外 | -円 | -円 | -円 | -円 | -円 | -円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 935円 | 946円 | 960円 | 969円 | 985円 | 999円 |

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

USドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZMを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。

●USドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZM

先進国の経済成長や足元の企業ファンダメンタルズは支援材料ですが、金融市場全般にボラティリティの高い状況が続いており、ハイイールド市場も目先不安定な環境になる可能性があります。ミドル・マーケット銘柄は、依然、投資魅力度は高く、利回りを享受することで高いトータル・リターンを獲得を期待しています。今後も元本保全を重視したポートフォリオを維持しつつ、リスク調整後リターンの獲得をめざす方針です。

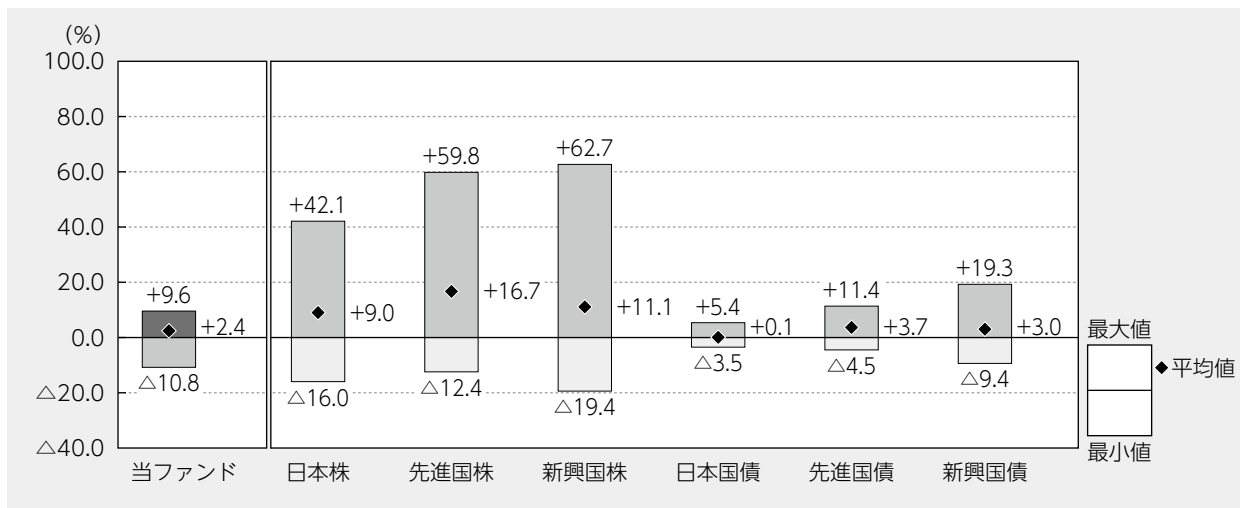
●D I AMマネーマザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

当ファンドの概要

| | |
|--------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信託期間 | 2020年7月31日から2030年7月12日までです。 |
| 運用方針 | 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 主として、以下の投資信託証券に投資します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルグ籍外国投資法人 USドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZM 米ドル建投資証券（以下、「ハイイールド・ファンド」といいます。） ・DIAMマネーマザーファンド受益証券 |
| 運用方法 | ハイイールド・ファンドは主として米ドル建ての短期高利回り社債に投資を行います。 当ファンドにおけるハイイールド・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。 |
| 分配方針 | 毎決算時（原則として毎月15日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 ※第1期（2020年8月17日）から第3期（2020年10月15日）までの決算は収益分配を行いません。 |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2021年7月~2022年6月

代表的な資産クラス : 2017年7月~2022年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2022年7月15日現在）

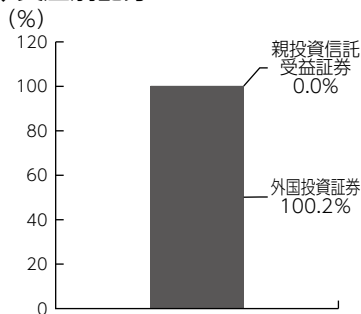
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

| | 第24期末 |
|--|------------|
| | 2022年7月15日 |
| USダラー・ショート・デュレーション・ハイイールド・ ボンド・ファンド クラスZM | 100.2% |
| DIAMマネーマザーファンド | 0.0 |
| その他 | △0.2 |

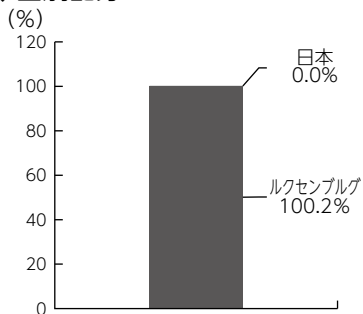
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

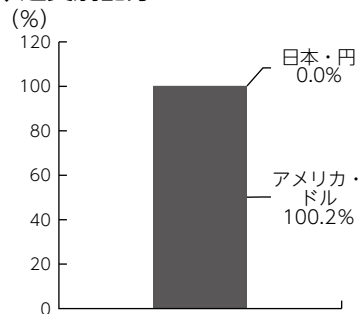
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮しておりません。

(注3) 実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っています。

純資産等

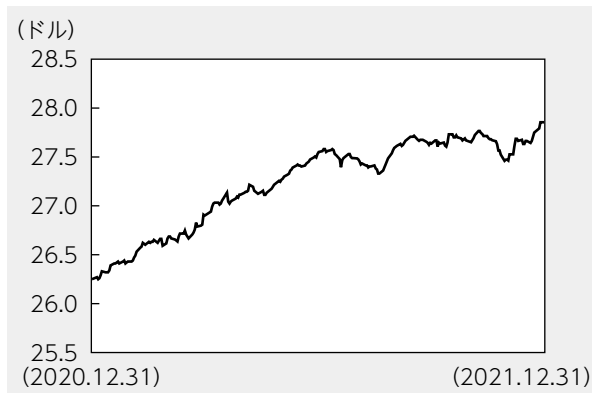
| 項目 | 第19期末 | 第20期末 | 第21期末 | 第22期末 | 第23期末 | 第24期末 |
|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 2022年2月15日 | 2022年3月15日 | 2022年4月15日 | 2022年5月16日 | 2022年6月15日 | 2022年7月15日 |
| 純資産総額 | 2,213,876,964円 | 2,084,968,586円 | 1,827,915,144円 | 1,737,733,878円 | 1,766,637,105円 | 1,614,354,433円 |
| 受益権総口数 | 2,131,745,553口 | 2,040,131,400口 | 1,787,337,802口 | 1,774,090,878口 | 1,862,076,780口 | 1,746,675,223口 |
| 1万円当たり基準価額 | 10,385円 | 10,220円 | 10,227円 | 9,795円 | 9,487円 | 9,242円 |

(注) 当作成期間（第19期～第24期）中における追加設定元本額は100,068,958円、同解約元本額は598,804,790円です。

組入ファンドの概要

【USドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZM】（計算期間 2020年12月31日～2021年12月31日）

◆基準価額の推移



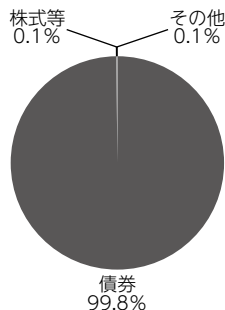
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---|---------|-------|
| RAYONIER AM PRODUCTS INC 7.625% 01/15/26 | アメリカ・ドル | 1.0% |
| COLGATE ENERGY PARTNERS III LLC 7.750% 02/15/26 | アメリカ・ドル | 1.0 |
| JPW INDUSTRIES HOLDING CORP 9.000% 10/01/24 | アメリカ・ドル | 1.0 |
| TOWNSQUARE MEDIA INC 6.875% 02/01/26 | アメリカ・ドル | 1.0 |
| TRIVIUM PACKAGING FINANCE BV 8.500% 08/15/27 | アメリカ・ドル | 1.0 |
| MOHEGAN GAMING & ENTERTAINMENT 8.000% 02/01/26 | アメリカ・ドル | 0.9 |
| CPI CG INC 8.625% 03/15/26 | アメリカ・ドル | 0.9 |
| SCIENTIFIC GAMES INTERNATIONAL 8.250% 03/15/26 | アメリカ・ドル | 0.9 |
| GLOBAL PARTNERS LP 7.000% 08/01/27 | アメリカ・ドル | 0.9 |
| LIFE TIME INC 5.750% 01/15/26 | アメリカ・ドル | 0.9 |
| 組入銘柄数 | | 167銘柄 |

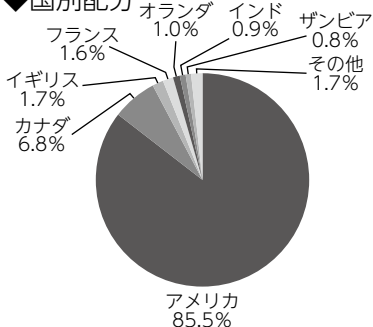
◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

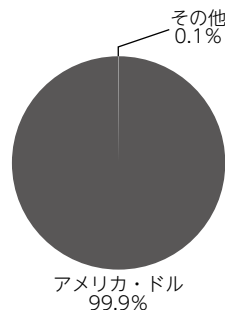
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はUSドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンド クラスZMの計算期間（決算日が休日の場合は前営業日まで）のものであります。また、分配金を再投資したもとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、USドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンドの決算日（決算日が休日の場合は前営業日）現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はUSドル・ショート・デュレーション・ハイイールド・ボンド・ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

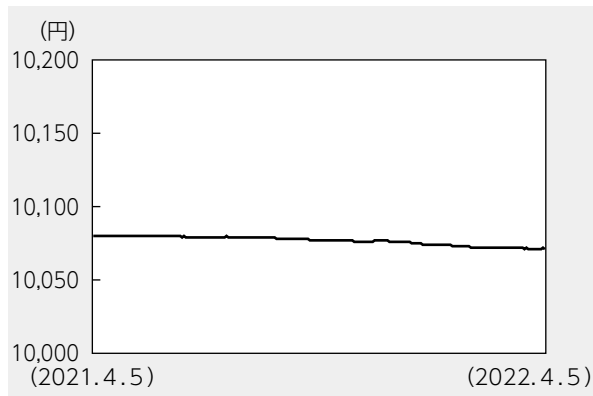
(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 資産別配分の株式等には新株予約権付社債等が含まれる場合があります。

(注7) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、運用会社であるモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドのデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2021年4月6日～2022年4月5日）

◆基準価額の推移



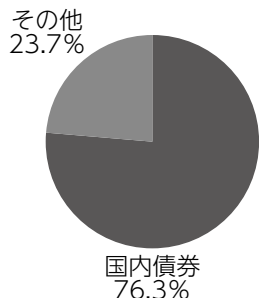
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-----------------|------|-------|
| 413回 利付国庫債券（2年） | 日本・円 | 17.6% |
| 418回 利付国庫債券（2年） | 日本・円 | 16.8 |
| 416回 利付国庫債券（2年） | 日本・円 | 16.8 |
| 415回 利付国庫債券（2年） | 日本・円 | 16.8 |
| 419回 利付国庫債券（2年） | 日本・円 | 8.4 |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| 組入銘柄数 | 5銘柄 | |

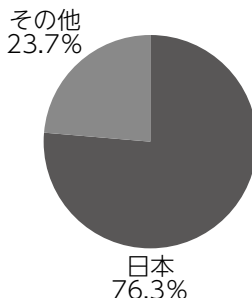
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

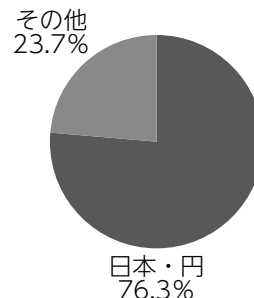
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

